

サブタイトル : 鈴鹿山系屈指の岩峰へ

タイトル : 鎌ヶ岳～御在所岳

2021年11月28日

<参加メンバー> 8人(男性5人、女性3人)

<天候> 晴れ

<コースタイム>

11月28日(日)

- 6:35 JR川西池田駅
- 8:40 鈴鹿スカイライン県境付近駐車場
- 10:15 鎌ヶ岳
- 11:20 武平峠
- 12:30 御在所岳
- 14:30 駐車場着

<山行の概要>

前日の現地の天気から軽アイゼン持参の連絡があった。

新名神土山ICで降り鈴鹿スカイラインで県境トンネル近くの駐車場より武平峠を右に鎌ヶ岳に向かう。10分ほど登ると登山道に雪積もっていて軽アイゼンを装着して急登を山頂に向かう。途中所々に岩峰が現れ山頂まで雪が積もっていた。天気も良く頂上からの眺望は抜群で遠く雪を被った北アルプス中央アルプス、知多半島などが良く見えた。

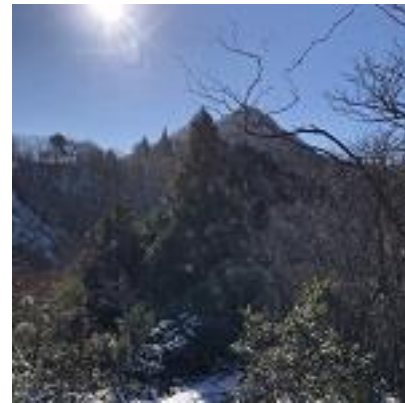
登ってきた道を武平峠まで降りて今度は反対側の御在所岳に向け登り始める。こちらは気温が上がったため登山道は山頂まで雪が解けぬかる道になりかけていた。こちらも途中から急峻な岩峰が現れ岩の割れ目を探りながら足場を確認しながら登って行った。山頂直下の階段を上ると壮大な眺望が開け、また大勢の観光客が三重県側からケーブルカーで来ていた。



1. さあ鎌ヶ岳に向かって出発。



2. 武平峠の分岐を右に鎌ヶ岳へ!



3. 天気は上々。だが気温は低い。



4. 雪の姿が現れ始める!



5. 全員軽アイゼンを装着。日差しの無い所は雪が氷状になっていて所もある。



6. 雪の中に岩稜が現れる。



7. 一面雪で覆われ、本格的な雪山登山を思わせる光景。



8. 頂上直下の急登を注意しながら登っていく。



9. ようやくの思いで鎌ヶ岳山頂へ。快晴、眺望は抜群。





10. 凍った雪道の中を気を付けながらもと来た道を武平峠まで下山する。



11. 武平峠から御在所岳に向かう。今度は登山道は雪が解けてどろどろの状態！



12. 途中より日差しが当たるようになり、岩場も現れ始める。



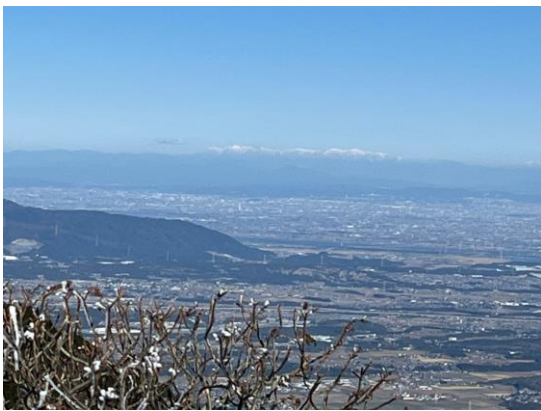
13. 岩が林立する中を足場に注しながら登っていく。変化の激しい登山道が続く。



14. 三点支持を保ちながら岩の割れ目を探して登って行く。気の抜けない場所であった。



15. 頂上付近の階段を必死で上り何とか無事に御在所岳の三角点に到着。そこには360°の大パノラマが広がっていた。



16. 東の方には頂上に雪を被った中央アルプス山々がはっきりと見えた。



17. 御嶽山もはっきり見える。手前の木々は霧氷の花が咲き乱れている。



18. 絶景を見ながら名残惜しいがもと来た道を下山する。もうそこには雪はなかった。